世界遺産

世界遺産と日本文化

世界遺産とは

UNESCO（国際連合教育科学文化機関）の世界遺産条約に基づいて登録された文化・自然遺産のことを『世界遺産』といいます。世界遺産には、国や民族をこえて人類が共有すべき普遍的な価値のある遺産が数多く登録されています。

※世界遺産条約は1972年のユネスコ総会で採択されました。

世界遺産の種類

世界遺産は以下の3種類があります。いずれも有形の不動産が対象となります。

## 文化遺産

人類の歴史によって生み出された遺産です。世界的に優れた価値を有する記念物や建造物群、遺跡、文化的景観などが対象となります。

## 自然遺産

自然の営みにより創造された遺産です。世界的に優れた価値を有する地形や景観、絶滅の恐れがある動植物の生息地などが対象となります。

## 複合遺産

文化遺産と自然遺産の両方を兼ね備えている遺産です。

日本の世界遺産

2016年12月現在、日本には以下の20件が世界遺産に登録されています。

## ＜文化遺産＞

法隆寺地域の仏教建造物

姫路城

古都京都の文化財

白川郷・五箇山の合掌造り集落

原爆ドーム

厳島神社

古都奈良の文化財

日光の社寺

琉球王国のグスク及び関連遺産群

紀伊山地の霊場と参詣道

石見銀山遺跡とその文化的景観

平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－

富士山－信仰の対象と芸術の源泉

富岡製糸場と絹産業遺産群

明治日本の産業革命遺産　製鉄・製鋼、造船、石炭産業

ル・コルビュジエの建築作品－近代建築運動への顕著な貢献－

## ＜自然遺産＞

屋久島

白神山地

知床

小笠原諸島